

不完全重複腎盂尿管の下位腎の水腎症に起因した page kidney の 1 例

西尾 英紀（名古屋市立大学大学院医学研究科 小児泌尿器科学分野）

この度は、大変栄誉ある学会賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

私の発表は、不完全重複腎盂尿管に伴った下位腎の水腎症に対して、その下位腎がほぼ無機能であったため腹腔鏡下で下位腎摘除術を施行したところ、上位腎の機能を温存しつつも、術前に呈した高血圧も改善したという内容でした。

“page kidney” は、腎実質が圧迫されることに伴い、二次性に高血圧を呈する稀な病態です。成人と比較して小児は二次性高血圧の頻度が多いため、本症例で腎実質を圧迫する下位腎の水腎症のために高血圧をきたしていることが疑われ、実際に下位腎の摘除術後は血圧が正常化し、降圧薬の内服を中止することができました。血液検査で術前に高値であったレニン活性は術後に正常化し、また摘除した腎実質組織を用いた抗レニン抗体による免疫染色で傍糸球体装置にレニン集積を認めたことより、page kidney による高血圧が考えられました。さらに腎機能が廃絶した下位腎の摘除による血圧の正常化が、今後の腎機能保護にも寄与した可能性が考えられました。

手術治療を行って年数を経過した現在も当科外来を通院されていますが、手術執刀は私の先輩によるものでした。今後は自分自身で執刀し、最善の医療を行うことができるように努めてまいりたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。